

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

平成31年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語と算数の2教科を実施しました。

昨年度までは、「国語A」、「算数A」（主に知識に関する問題）と「国語B」、「算数B」（主に活用に関する問題）に分けて実施してきましたが、今年度より、それらが1つにまとまった調査を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、並びに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、御理解と御協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることを御理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	63.8%					○
算数	66.6%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
話すこと・聞くこと	72.3%					○
書くこと	54.5%					○
読むこと	81.7%					○
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	53.5%					○

【考察】

- 昨年度課題としてみられた「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の漢字を文の中で正しく使う問題は、授業や家庭学習での継続的な練習の成果が現れ、大変よくできました。
- 「書くこと」では、「情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を考える」問題の正答率が、他の問題の正答率と比較すると、やや低い傾向にあったので、今後も授業や家庭学習において、調べた事を報告する文章を書く際に、相手に分かりやすい書き方について指導を丁寧に行っていきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	63.2%					○
量と測定	52.9%					○
図形	76.7%					○
数量関係	68.3%					○

【考察】

- 「数と計算」では、加法と乗法の混合した整数と小数の計算が良くできていました。計算のきまりを繰り返し指導したり、基礎・基本の定着を図ったりしたことの成果だと考えられます。一方、「 $1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるか」の答えを選ぶ問題の正答率が低かったので、式の意味を考えたり説明したりできるように指導していきます。
- 「量と測定」では、列に並んで買い物をする場合の、進む速さから買い物ができるまでの時間を考える問題が大変よくできました。「単位量あたりの大きさ」について、体感しながら理解させたこと、数直線を用いて必要な情報を整理しながら立式していく指導を繰り返し行ったことが知識・理解の定着につながったと考えられます。

**平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査
質問紙調査結果及び考察について**

保護者の皆様へ

白河市立みさか小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、その結果及び考察の一部をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や読書の様子など家庭生活に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、是非、御家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

1 家で自分で計画立てて勉強をしていますか。

		している	どちらかといえ ばしている	あまり していない	全く していない
小	全 国	33.1	38.4	23.0	5.5
6	みさか小	43.1	41.4	13.8	1.7

(単位 %)

【考 察】

- 「している」「どちらかといえはしている」を合わせると8割を超え、全国平均を上回る結果となりました。本校では昨年度から、「自己マネジメント力」を育てるため、「生活ノート」に自主学習の計画欄とチェック欄を新たに設け、活用してきました。少しずつではありますが「計画→実行→見直し」のサイクルで自分の学習をマネジメントしていけるようになってきています。
- より効果的な計画を立てて取り組んでいる児童を紹介したり、自主学習ノートをコピーして掲示したりするなどして、家庭学習への意欲を高め、計画的に取り組めるよう指導していきますので、ご家庭でも励ましの言葉をお願いします。

2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3
6	みさか小	3.4	17.2	56.9	20.7	1.7	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校では、6年生の学習の時間の目安を70分以上（10分×学年＋10分）としています。本校において1時間以上学習している児童は、全国平均よりも1割程多くなっており、より良い家庭学習の習慣が身につけてきています。
- 毎日の家庭学習が1時間未満の児童が、2割程度いますので、全児童が70分以上の家庭学習に取り組めるように今後も「家庭学習の手引き」や「生活ノート」を活用して、学校と家庭とで連携しながらより良い家庭学習の習慣作りにつとめていきます。

3 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。

		2時間以上	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	10分以上 30分未満	10分未満	全くしない
小	全国	7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7
6	みさか小	3.4	10.3	25.9	31.0	17.2	12.1

(単位 %)

【考 察】

- 読書への関心・意欲を高めるため、スタンプラリーや多読賞表彰などを行ったこともあり、昨年度と比較すると、一人一人の読書の時間が少しずつ長くなってきました。しかし、やはり時間的に多忙な高学年児童に対し、どのように読書に取り組みさせていくかが課題です。今後も、図書ボランティアによる読み聞かせや、マイブックバックを活用しながら、本の楽しさを知り、自分で読書する時間を作るなどの意識改革を図っていけるようにします。
- 本校には、学校司書が配置されています。今後も、図書室の本がスムーズに貸し出しできるシステムを最大限に有効活用し、読みたい本、授業に関係がある本などを短時間で見つけ出し、充実した読書環境を整えられるようにしていきます。

4 5年生までに受けた授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

		当てはまる	どちらかといえ ば当てはまる	どちらかといえ ば当てはまらない	当てはまらない
小	全国	33.0	44.7	18.1	4.0
6	みさか小	62.1	29.3	6.9	1.7

(単位 %)

【考 察】

- 「当てはまる」と答えた割合が全国平均を大きく上回っており、本校児童が主体的に学習に取り組んでいることが分かります。本校では一昨年度から「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて、「授業スタンダード」を活用し、子どもたちが進んで学ぶ学習を促す授業改善を進めています。その成果が確実に現れてきています。
- 今後も、子どもたちのやる気を高める学習課題の設定や、主体的な学習を促す授業の工夫を考え、実践していきます。